



安全利用点検を実施(4月13日~22日)

河川利用者が安心して河川に接することが出来るような川づくりを目指して、河川利用者が増加するゴールデンウィーク前に水辺回りや階段、堤防、護岸等の河川管理施設について点検を行いました。

この点検により、危険な箇所が発見された場合には、改善や注意喚起看板設置等の対策を実施し、河川利用者が安全に川にふれあうことが可能となるよう行なうものであり、川の点検制度です。



4/17日鎌庭管内実施

今年度は一部の出張所において試験的な取組として河川愛護モニターや地域の方々と共に点検を実施しました。

当日は、出張所長が河川の現況や河川利用状況等を説明し、又対策を実施予定の危険箇所についても現地を確認し、対策方法を説明しながら点検しました。



4/22日石井管内実施

水質事故が発生

平成21年4月16日10時頃鬼怒川左岸66.0kmの東蓼沼排水樋管から大量の油が鬼怒川へ流れる水質事故が発生しました。

下館河川事務所では、各関係機関への情報提供と共に、鬼怒川にオイルフェンスを3箇所設置し、被害が下流側へ広がらないよう対策を実施した結果、取水制限等の被害は、特に認められませんでした。



オイルフェンス設置状況



油が流出している状況
(下流側は蓼沼橋)

鬼怒川及び小貝川水利調整連絡会が開催されました。



本連絡会は、平成5年度、国・地方自治体・土地改良区の方々等の関係者により、水利使用の円滑化を図るための連絡調整の場として、発足しました。毎年、取水量が大幅に増加する代掻き期前に定例会を開催しています。

本年は4月17日に開催、現在の鬼怒川・小貝川の流況や今後の見通しについての情報の共有化を行うとともに、意見交換を行いました。



「みどりの愛護」功劳者国土交通大臣表彰授賞

ハーブフローの会

代表 結城直子

国土交通省では、貴重なみどりを守り育て親しむとともに、その恩恵に感謝し、豊かな心を育むことを願って、平成2年度から全国「みどりの愛護」の集いを開催しています。このつどいにおいて、全国の公園緑地、道路、河川等のみどりの愛護団体、地域の緑化・緑の保全活動団体の中で顕著な功績のあった団体に対して「みどりの愛護」功劳者国土交通大臣表彰を行っております。

平成21年度、河川等のみどりの愛護団体として小貝川河川敷において活動している「ハーブフローの会」が授賞し、国土交通大臣から感謝状が授与されました。



第20回全国「みどりの愛護」のつどい 植樹 (横浜動物の森公園: 神奈川県横浜市)



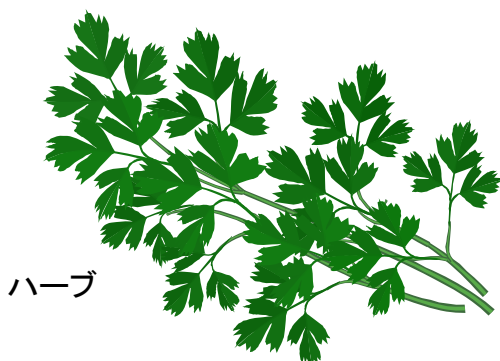
活動状況 ハーブの種蒔き(小貝川河川敷)



キンギョソウ



春の植物観察 (小貝川河川敷)



ハーブ